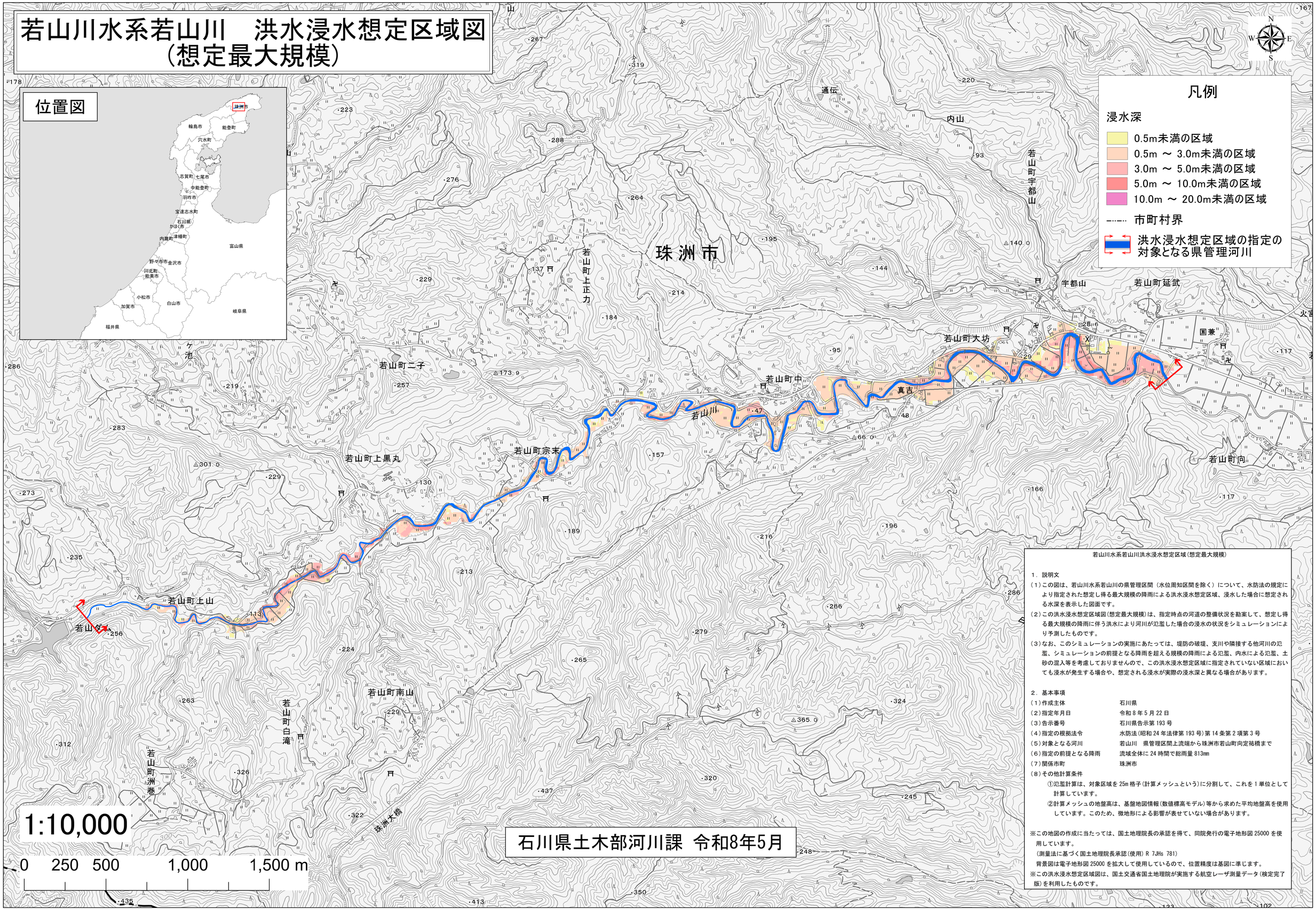
若山川水系若山川　洪水浸水想定区域図
（想定最大規模）



凡例

浸水深

- 0.5m未満の区域
- 0.5m ～ 3.0m未満の区域
- 3.0m ～ 5.0m未満の区域
- 5.0m ～ 10.0m未満の区域
- 10.0m ～ 20.0m未満の区域

市町村界

洪水浸水想定区域の指定の対象となる県管理河川

石川県土木部河川課　令和8年5月

若山川水系若山川洪水浸水想定区域（想定最大規模）

1．説明文

（1）この図は、若山川水系若山川の県管理区間（水位周知区間を除く）について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

（2）この洪水浸水想定区域図（想定最大規模）は、指定時点の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により河川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、堤防の破堤、支川や隣接する他河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫、土砂の混入等を考慮しておりませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水が実際の浸水深と異なる場合があります。

2．基本事項

（1）作成主体	石川県
（2）指定年月日	令和 8 年 5 月 22 日
（3）告示番号	石川県告示第 193 号
（4）指定の根拠法令	水防法（昭和 24 年法律第 193 号）第 14 条第 2 項第 3 号
（5）対象となる河川	若山川　県管理区間上流端から珠洲市若山町向定祐橋まで
（6）指定の前提となる降雨	流域全体に 24 時間で総雨量 813mm
（7）関係市町	珠洲市

（8）その他計算条件

①氾濫計算は、対象区域を 25m 格子（計算メッシュという）に分割して、これを 1 単位として計算しています。

②計算メッシュの地盤高は、基盤地図情報（数値標高モデル）等から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。

※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図 25000 を使用しています。
（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 781）
背景図は電子地形図 25000 を拡大して使用しているので、位置精度は基図に準じます。

※この洪水浸水想定区域図は、国土交通省国土地理院が実施する航空レーザ測量データ（検定完了版）を利用したものです。

※測量法に基づく国土地理院長承認（使用）　R 7JHs 781